



VOL. 135

杜若経営法律事務所弁護士 向井 蘭

★ 中国における定年退職日はいつを指すのか？

従業員の定年退職日は、法的に明確に定められているように見えても、その「到達日」の解釈を巡って紛争が生じることがあります。特に、中国における満年齢の考え方は日本と異なり、実務上の判断に迷うケースも少なくありません。

今回は、中国における具体的な裁判例（ウォルマート社事件）を通して、定年退職日の解釈に関する司法判断と、企業が留意すべき対応策を分かりやすくご説明いたします。

1 事案の概要

本件は、中国のウォルマート社に勤務していた女性従業員、李某某氏（仮名、1971 年 10 月 21 日生まれ）に関するものです。同社は、李氏が 2021 年 10 月 21 日に満 50 歳になるとして、その前日の 2021 年 10 月 20 日をもって労働契約を終了する旨の通知を行いました。李氏はこれを不服とし、会社による労働契約の違法終了を主張して労働仲裁を申し立て、最終的に裁判で争われました。

2 本件の主な争点

本件の主な争点は、「李氏が法定退職年齢である満 50 歳に到達するのは具体的にいつか」、そして「それに基づいて労働契約が適法に終了する日はいつか」という点でした。

3 裁判所の判断

(1) 第一審の判断（会社敗訴）

裁判所は、李氏の出生時刻（1971 年 10 月 21 日 19 時）を認定した上で、中国「民法典」第 1259 条における「期間の満了」の解釈に基づき、李氏が満 50 歳に到達するのは「2021 年 10 月 21 日の 24 時（すなわち、10 月 22 日の午前 0 時）」であると判断しました。したがって、会社が 10 月 20 日に契約を終了させたことは、李氏が法定退職年齢に到達する前の一方的な契約解除にあたり違法であるとし、会社に賠償金の支払いを命じました。

(2) 第二審の判断（会社敗訴）

第二審裁判所も第一審の判断を支持しました。その理由として、以下の 3 点を挙げています。

法解釈の正確性：中国「民法典」および「労働契約法实施条例」の規定に基づき、満 50 歳に到達するのは誕生日の翌日であると解釈するのが正しい。したがって、李氏は 2021 年 10 月 21 日においても労働し、その報酬を得る権利を有していた。

契約履行の完全性：会社が 10 月 21 日のシフトを一方的に取り消し、勤怠システムへのアクセスを遮断した行為は、李氏の最終労働日における労働の権利を実質的に剥奪するものであり、契約の早期終了にあたる。

手続きの正当性の欠如：会社は、退職手続きや業務引継ぎに関して李氏と十分な協議を行っておらず、契約終了通知の表現も曖昧であった。

裁判所は会社側の控訴を棄却し、原判決（会社側の違法な契約終了を認め、賠償金の支払いを命じる内容）を維持しました。

4 本事例から見る司法判断のポイント

本件から、中国の裁判所が以下の点を重視していることがうかがえます。

「満年齢」の厳密な解釈：中国民法典では、「期間の満了」について、その期間の最終日の終了をもって満了すると解釈します。つまり、誕生日の当日が完全に経過した時点（誕生日の翌日の午前 0 時）で満年齢に達するという考え方です。これは、例えば日本の「年齢計算ニ関スル法律」において、誕生日の前日をもって満年齢に達すると定めているのとは異なる点であり、特に注意が必要です。

労働者の権利保護：労働契約の最終日であっても、労働者が有する労働の権利や賃金請求権を保護する姿勢が明確に示されました。

企業側の手続きの適正性：労働契約の終了という労働者にとって重要な事項については、企業側に明確な通知、十分な説明、そして誠実な協議を行う義務があることを強調しています。

5 実務上の留意点

定年退職日の処理を 1 日誤るだけで、法定の 2 倍に相当する経済補償金の支払い義務が生じる可能性があることは、企業にとって大きなリスクです。この事例の背景には、何らかの労使間の確執があった可能性も考えられます。一般的に、誕生日の翌日を定年退職日として処理すれば法的な問題は生じにくいと考えられますが、本件のような大企業でさえ判断を誤るケースがあるため、人事労務担当者は特に慎重な確認が求められます。

以上

お電話・メールでご相談お待ちしております。（9:00～17:00）

[杜若経営法律事務所](#) TEL03-6275-0691/FAX03-6275-0692

メールでのお問い合わせは[こちら](#)